

平成 20 年度 湯沢砂防事務所 事業計画概要

<平成 20 年度事業計画のポイント>

中越地震で被害を受けた芋川については、再度災害防止のために、直轄砂防事業と直轄地すべり対策事業を推進します。

中越地震で被害を受け、平成 18 年度より直轄砂防事業に着手した相川川についても、仙之沢川砂防堰堤などで本格的な工事に着手します。

魚野川上流域における土砂災害に対する安全度の向上や、重要交通網の保全のために、平成 20 年度から新規に毛渡沢第 2 号砂防堰堤に着手します。

中津川流域の土砂災害に対する安全度を向上させるために、脆弱な地質で荒廃が著しい栃川において、新規に上野原第 3 号砂防堰堤に着手します。

問い合わせ先

北陸地方整備局 湯沢砂防事務所 TEL 025-784-2263 (代表)

副所長(技術) 本郷 國男 内線 204

調査課長 小竹 利明 内線 351

湯沢砂防ホームページでもご覧いただけます。

URL <http://www.hrr.mlit.go.jp/yuzawa/>

1 湯沢砂防事務所の「安全で安心な地域づくり」の基本方針

湯沢砂防事務所は、信濃川の支流の魚野川、清津川、中津川の流域の約 2200 平方キロメートルを担当し、直轄砂防事務所としては日本一の広さで砂防事業を行っています。

管内には谷川岳・苗場山などからなる「上信越高原国立公園」、越後三山・守門岳・浅草岳などからなる「越後三山只見国定公園」、巻機山を中心とする「魚沼連峰県立自然公園」があり、四季の変化に富んだ、自然豊かで美しい地域となっています。

また、関東と北陸を結ぶ上越新幹線や関越自動車道が通り、首都圏から 1~2 時間圏にあるこの地域は、多数のスキー場や温泉などの豊かな自然を活用した、日本有数のリゾート地域となっています。

その一方で、豊かな自然の恵みを与えてくれる山々は非常に脆弱な地質と急峻な地形からなっており、梅雨から秋にかけての集中豪雨や台風、冬から春にかけて豪雪および融雪によって崩れやすく、土砂の生産・流出の激しい地域です。加えて、人家や集落、道路や鉄道などが山沿いに多く立地しているため、土砂災害を受けやすい地域となっています。

このような管内の特性を踏まえ、湯沢砂防事務所は、「定住交流の促進」、「個性豊かな地域づくり」、「自然との共生」を整備方針とし、技術の研鑽と開発、様々な情報の発信に努めながら、地域に根ざした砂防事業を推進し、安全で安心な地域づくりに取り組んでいます。

2 平成20年度 事業別予算総括表

(単位:千円)

事業区分	平成20年度 当初 (A)	平成19年度 当初 (B)	昨年度比 (A/B)
直轄砂防事業費	6,345,158	6,249,000	1.02
直轄砂防事業	4,778,500	4,722,000	1.01
直轄火山砂防事業	1,566,658	1,527,000	1.03
直轄地すべり対策事業費	1,403,000	1,300,500	1.08
事業費合計	7,748,158	7,549,500	1.03

3 平成20年度 実施箇所数

事業区分	実施箇所数				
	継続	新規	再開	計	うち完成
直轄砂防事業	26	8	0	34	5
直轄砂防事業	19	6	0	25	3
直轄火山砂防事業	7	2	0	9	2

事業区分	実施箇所数				
	継続	新規	再開	計	うち完成
直轄地すべり対策事業	1*	-	-	0	0

* 芋川地区については、調査結果に基づき、必要な地区の対策を実施していきます。

4 平成20年度 実施箇所

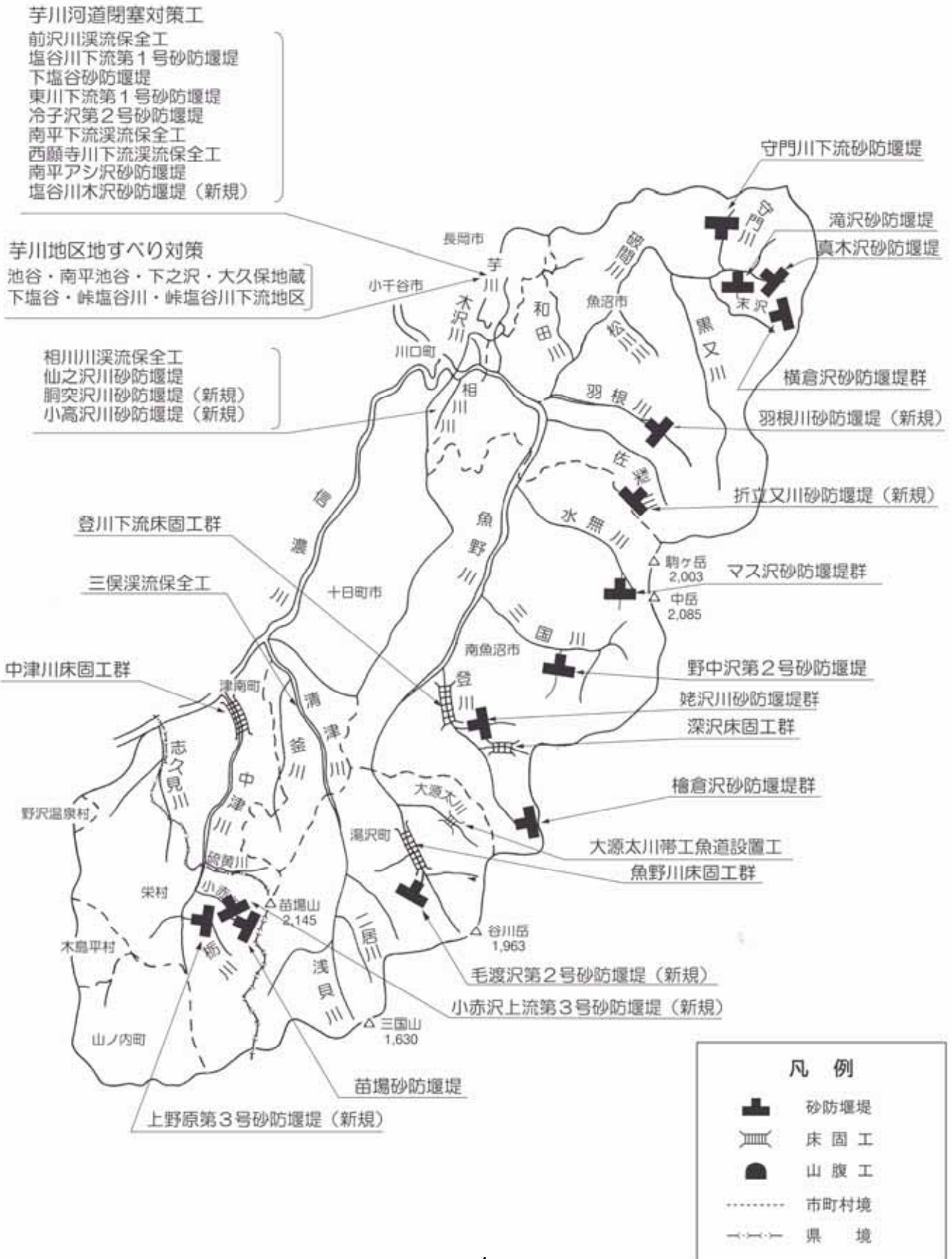
< 砂防事業 >

河川名	溪流名	市町村名	事業箇所名	全体計画概要	施工予定期間	担当出張所等	
魚野川	芋川	長岡市 魚沼市 小千谷市 川口町	芋川河道閉塞対策工	補償橋梁、市道	H17～H20 (完成)	建設 監督官 (芋川)	
			長岡市	前沢川溪流保全工	溪流保全工等		H17～H23
		長岡市	東川下流第1号砂防堰堤	砂防えん堤嵩上げH=14.5m L=67m	H19～H22		
			冷子沢第2号砂防堰堤	砂防えん堤H=14.5m L=38m	H19～H23		
			南平下流溪流保全工	溪流保全工等	H19～H23		
			西願寺川下流溪流保全工	溪流保全工等	H19～H23		
		川口町	南平アシ沢砂防堰堤	砂防えん堤H=14.5m L=102m	H19～H26		
			川口町	塩谷川下流第1号砂防堰堤	砂防えん堤H=8.5m L=34m		H19～H21
		小千谷市 川口町	塩谷川木沢砂防堰堤	砂防えん堤H=13.5m L=50m	H20～H23 (新規)		
			下塩谷砂防堰堤	砂防えん堤H=14.5m L=40m	H19～H22		
	相川川	川口町	相川川溪流保全工	床固工1基、帯工3基、護岸工	H18～H20 (完成)	中津川出 張所	
			仙之沢川砂防堰堤	砂防えん堤H=14.5m L=50m	H18～H22		
			胴突沢川砂防堰堤	砂防えん堤H=9.5m L=34m	H20～H23 (新規)		
			小高沢川砂防堰堤	砂防えん堤H=10m L=37m	H20～H23 (新規)		
破間川	魚沼市	横倉沢砂防堰堤群	砂防えん堤4基	H12～H20 (完成)	破間川出 張所		
		守門川下流砂防堰堤	砂防えん堤嵩上げH=12m L=100m	H17～H20 (完成)			
		真木沢砂防堰堤	砂防えん堤H=14.5m L=38m	H19～H22			
		滝沢砂防堰堤	砂防えん堤H=14.5m L=54m	H19～H22			
		佐梨川	折又川砂防堰堤	砂防えん堤H=9.5m L=44m		H20～H23 (新規)	
羽根川	羽根川砂防堰堤	砂防えん堤H=9.5m L=53m	H20～H23 (新規)				
水無川	南魚沼市	マス沢砂防堰堤群	砂防えん堤 3基	H19～H24	中津川出 張所		
三国川	野中沢第2号砂防堰堤	砂防えん堤H=14.5m L=60m	H12～H24				
登川	登川下流床固工群	帯工4基	H15～H21				
	檜倉沢砂防堰堤群	砂防えん堤2基	H7～H22	建設監督 官(魚野 川)			
	姥沢川砂防堰堤群	砂防えん堤H=12m L=230m	H12～H20 (完成)				
魚野川	湯沢町	深沢床固工群	床固工7基、帯工5基	H15～H21			
		魚野川床固工群	床固工5基、帯工12基	H4～H21			
		毛渡沢第2号砂防堰堤	砂防えん堤1基	H20～H24 (新規)			
大源太 川	湯沢町	大源太川帯工魚道設置工	帯工5基、護岸工、魚道工	H19～H21			
		清津川	三俣溪流保全工	砂防対策工	H19～		
中津川	中津川	津南町	中津川床固工群	床固工4基	H10～H23	中津川出 張所	
		小赤沢 川	栄村	苗場砂防堰堤	砂防えん堤H=14.5m L=50.7m		H14～H21
	栃川	小赤沢上流第3号砂防堰堤	砂防えん堤1基	H20～H21 (新規)			
		上野原第3号砂防堰堤	砂防えん堤1基	H20～H24 (新規)			

< 地すべり対策事業 >

河川名	溪流名	市町村名	事業地区名	全体計画概要	施工予定期間	担当出張所等
魚野川	芋川	長岡市 魚沼市 小千谷市 川口町	芋川地区地すべり対策 〔池谷・南平池谷・下之沢・大 久保地蔵・下塩谷・峠塩谷 川・峠塩谷川下流地区〕	抑制工 1式 抑止工 1式	H18～	建設 監督官 (芋川)、 破間川 出張所

5 平成20年度 実施予定箇所位置図



6 平成 20 年度の主要事業

- 1 . 芋川流域における直轄砂防事業の推進
(新潟県長岡市、魚沼市、小千谷市、川口町)
…p.6
- 2 . 芋川流域における直轄地すべり対策事業の推進
(新潟県長岡市、魚沼市、小千谷市、川口町)
…p.7
- 3 . 相川川流域における直轄砂防事業の推進 (新潟県川口町)
…p.8
- 4 . 毛渡沢第 2 号砂防堰堤に新規着手 (新潟県湯沢町)
…p.9
- 5 . 上野原第 3 号砂防堰堤に新規着手 (長野県栄村)
…p.10
- 6 . 守門川下流砂防堰堤の完成 (新潟県魚沼市)
…p.11
- 7 . 魚野川床固工群・三俣溪流保全工の推進 (新潟県湯沢町)
…p.12
- 8 . 檜倉沢砂防堰堤群の推進 (新潟県南魚沼市)
…p.13
- 9 . 中津川床固工群の推進 (新潟県津南町)
…p.14

芋川流域における直轄砂防事業の推進

～ 新潟県中越沖地震による被災地の再度災害防止 ～
芋川流域(新潟県長岡市、魚沼市、小千谷市、川口町)

1. 事業の概要

信濃川水系魚野川右支川の芋川は、平成16年10月に発生した新潟県中越地震により、流域内で多数の山腹崩壊や地すべりが発生しました。それに伴い、多くの河道閉塞が発生し、特に被害の大きい11地区については直轄災害関連緊急事業により緊急的に整備を進め、平成18年度中に完成しました。平成19年度からは、砂防事業による土砂災害防止対策を推進し、平成20年度は、新たに塩谷川木沢砂防堰堤に着手します。

2. 事業の経緯

- 平成16年10月23日 「新潟県中越地震」により大規模な河道閉塞が発生
- 平成16年11月5日 「寺野地区」「東竹沢地区」を直轄砂防災害関連緊急事業で実施決定
- 平成18年度 直轄砂防災害関連緊急事業対応箇所完成
- 平成19年度以降 中越地震に伴う崩壊等に対する土砂災害防止対策を推進し、再度災害防止を図る

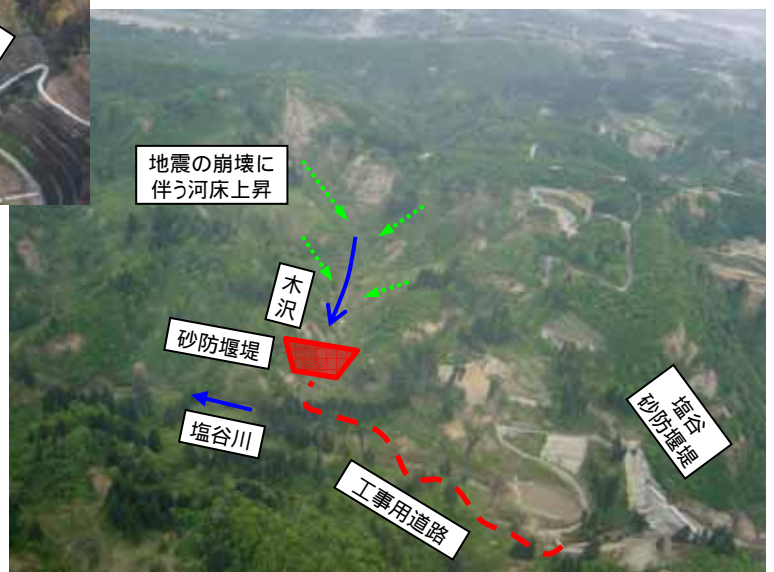
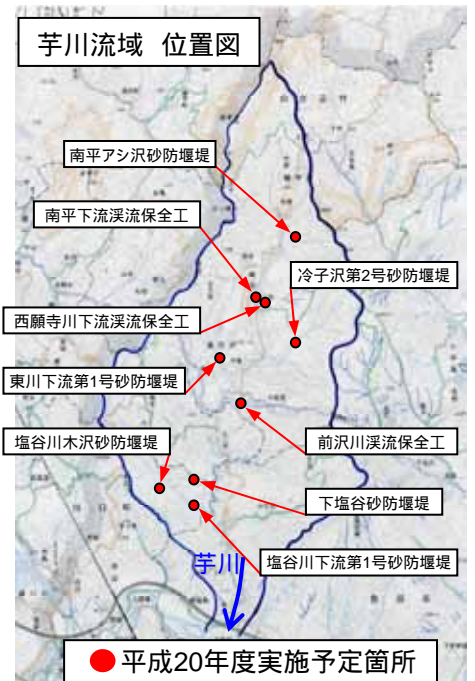
3. 平成20年度事業の内容

以下の事業を推進し、不安定土砂の流出抑制及び下流域の安全を確保します。

- 1) 大規模な河道閉塞が発生した東竹沢地区では、市道や農地の復旧などの地域の復興計画に配慮し、周辺整備を引き続き実施します(前沢川溪流保全工)。
- 2) これまで砂防施設が未整備であった支川に対して、砂防えん堤に新規着手します(塩谷川木沢砂防堰堤)。
- 3) 平成19年度より開始した南平下流地区や下塩谷川、塩谷川などの土砂流出の著しい地区に対して、砂防施設の早期完成をめざします。



前沢川溪流保全工



芋川流域における 直轄地すべり対策事業の推進

～ 新潟県中越地震による被災地の再度災害防止 ～
芋川地区(新潟県長岡市、魚沼市、小千谷市、川口町)

1. 事業の概要

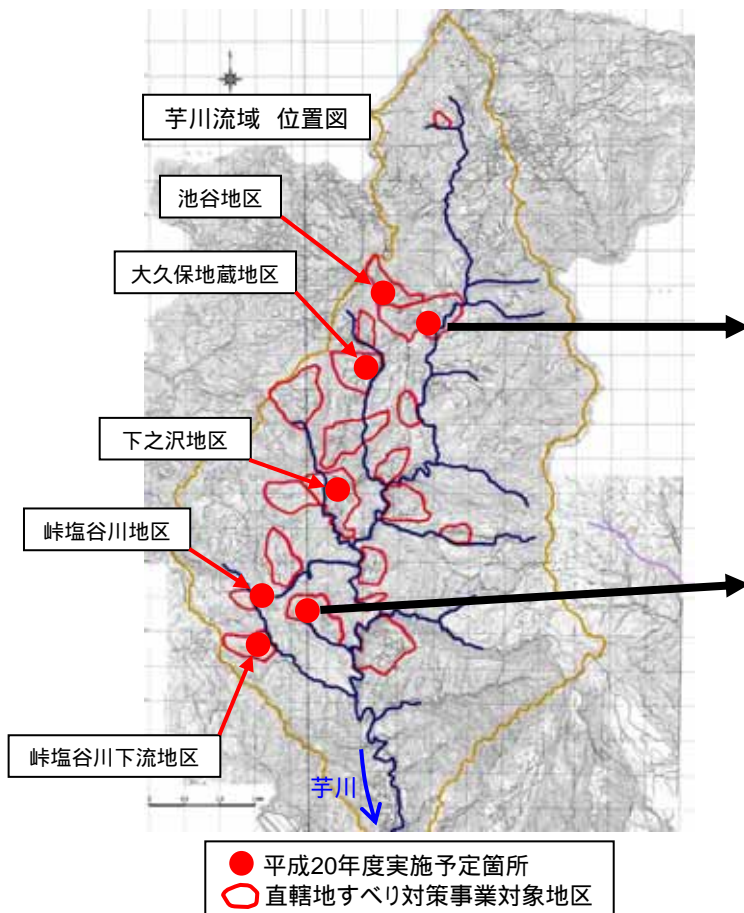
新潟県中越地震により芋川流域においては、大規模な河道閉塞を含む1,419箇所の斜面崩壊及び75箇所の地すべりが発生し、甚大な災害が発生しました。その上、平成16年から17年にかけての冬には19年ぶりの豪雪が中越地方を襲い、その後の融雪出水等によって流域の荒廃が進みました。これら山腹斜面の土砂移動を防止し、芋川流域における集中的かつ迅速な対策を講じるため、直轄地すべり対策事業を実施します。

2. 事業の経緯

平成16年10月23日 「新潟県中越地震」により地すべりが多数発生
平成17年及び平成18年豪雪による融雪時に崩壊地の拡大
平成18年4月 直轄地すべり対策事業着手

3. 平成20年度事業の内容

池谷・南平池谷・下之沢・大久保地蔵・下塩谷地区の地すべり対策工事を引き続き実施するとともに、峠塩谷川・峠塩谷川下流地区の地すべり対策工事に着手します。



相川川流域における直轄砂防事業の推進

～新潟県中越地震による被災地の再度災害防止～
(新潟県川口町)

1. 事業の概要

新潟県中越地震により相川川流域では多数の斜面崩壊が発生し、流域内には多量の不安定土砂が存在しています。また、平成18年の冬は中越地方で20年ぶりの豪雪となり、その後の融雪出水等によって流域の荒廃が進みました。これら不安定土砂の下流への流出抑制を図り、下流域の安全を確保するとともに、再度災害防止のため、砂防事業を本格的に推進します。

2. 事業の経緯

平成16年10月23日 新潟県中越地震により斜面崩壊が多発
平成17年及び平成18年の豪雪後の融雪時期に崩壊地が拡大
平成18年4月～ 直轄砂防事業に着手

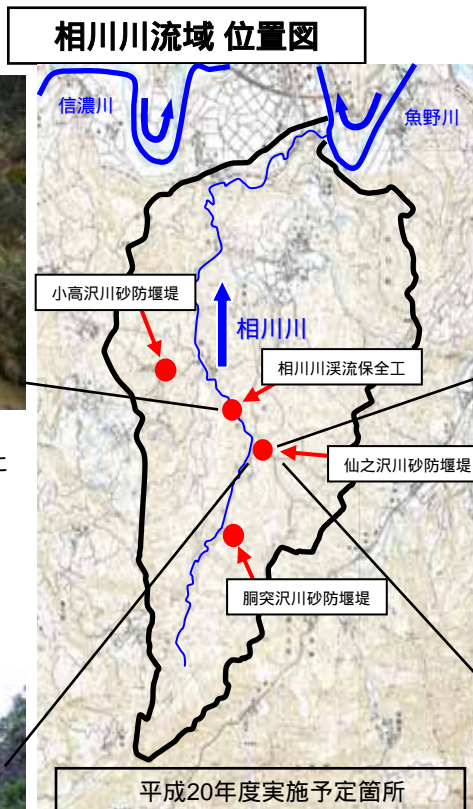
3. 平成20年度事業の内容

相川川本川及び流域の荒廃が著しい仙之沢川において、砂防えん堤等の整備を実施します。

相川川溪流保全工



新潟県が応急対策として設置したブロックえん堤。長期間の維持は困難と思われるため、この下流に床固工を整備します。



仙之沢川砂防堰堤



荒廃の著しい仙之沢川において、下流域集落及び県道を土砂災害から保全するため、砂防えん堤を整備します。

仙之沢川砂防堰堤



仙之沢川中流の荒廃状況

毛渡沢第2号砂防堰堤に新規着手

～重要交通網の保全～
(新潟県湯沢町)

1. 事業の概要

魚野川上流部に位置する毛渡沢は、重荒廃地「谷川岳」に属し、地形が急峻な上、風化侵食の激しい花崗岩で覆われ、下流部には堆積深の厚い不安定土砂を有しており、昭和56年8月23日豪雨などの異常出水時には多量の土砂が流出しました。

毛渡沢下流には、関越自動車道やJR上越線が横断しており、これらの重要交通網の保全や、魚野川上流域の治水安全度の向上を目的とした砂防えん堤を整備します。

2. 平成20年度事業の内容

砂防えん堤1基の本体工事に着手します。



上流部崩壊地と巨礫の堆積



JR上越線



関越自動車道



巨礫の堆積

上野原第3号砂防堰堤に新規着手

～ 上流域からの土砂流出防止 ～
(長野県栄村)

1. 事業の概要

中津川の右支川栃川は、火山噴出物で覆われているため非常に脆弱な地質で、河床勾配も1 / 10程度と非常に急流です。また、渓岸崩壊も多数存在し、不安定土砂が堆積しています。このため、流出土砂を抑制して下流域に立地する旅館や公民館等を、土砂災害から保全するため、上野原第3号砂防堰堤を整備します。

2. 平成20年度事業の内容

砂防堰堤1基の本体工事に着手します。



上流部崩壊地と巨礫の堆積



下流域の屋敷集落

守門川下流砂防堰堤の完成

～安全な地域づくり～
(新潟県魚沼市)

1. 事業概要

守門川は破間川の右支川で、上流域は火山岩性の脆弱な地質です。
また、下流部には大白川の集落が位置し、人家、旅館等の施設が存在します。
平成10年8月の出水で、周辺の道路・田畑等に被害を及ぼすなど守門川では土砂整備率が低いことから、守門川下流砂防堰堤の嵩上げを行っています。
平成20年度は、本えん堤及び前庭保護工を整備し完成させます。

2. 平成20年度事業の概要

本えん堤及び前庭保護工を整備し完成させます。



平成10年出水状況(守門川:大白川新田地内)



守門川下流砂防堰堤(施工中)



守門川下流域の保全対象

魚野川床固工群・三俣溪流保全工の推進

～重要交通網の保全～
(新潟県湯沢町)

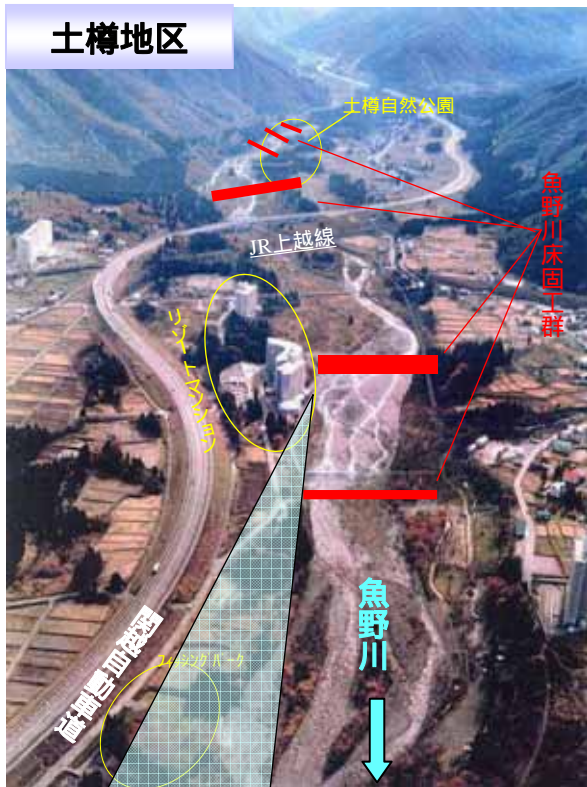
1. 事業の概要

湯沢町は、首都圏からの観光客を中心に、年間約5百万人が訪れるリゾート地であり、JR上越線・関越自動車道・国道17号等が重要なアクセス手段となっています。平成10年9月に発生した土砂災害では、JR上越線等の重要交通網や一部のリゾートマンションが被災しました。

魚野川床固工群(流路延長5.8km)の整備推進や、三俣溪流保全工の調査・設計を進め、重要交通網の保全と地域振興に寄与する砂防事業を展開します。

2. 平成20年度事業の内容

- ・魚野川床固工群について帯工の整備を推進します。
- ・三俣溪流保全工の調査・設計を進めます。



三俣溪流保全工
清津川沿いに立地する集落や国道17号等を保全するために必要な調査・設計を進めています。

檜倉沢砂防堰堤群の推進

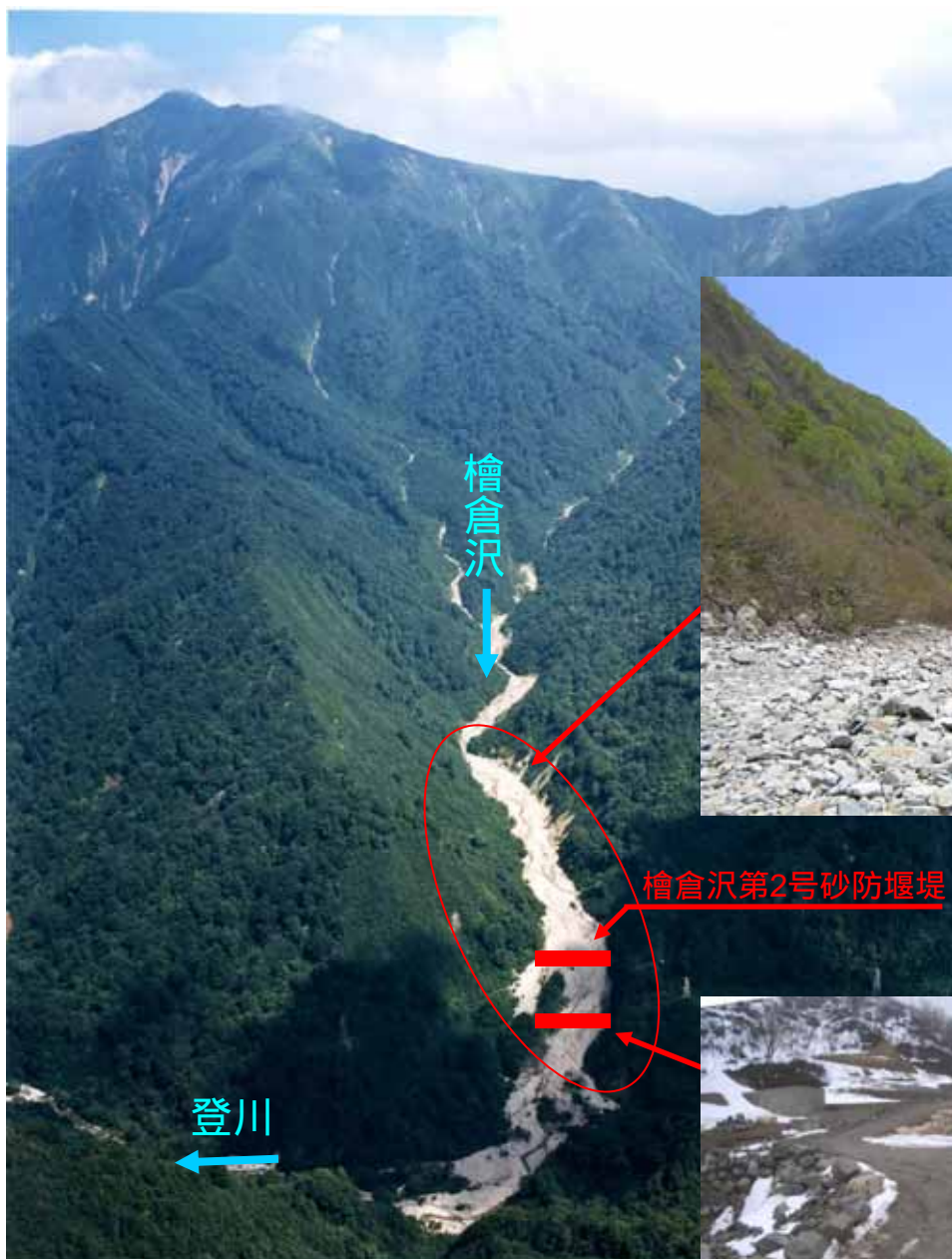
～ 上流域からの土砂流出防止～
(新潟県南魚沼市)

1. 事業概要

登川上流部に位置する檜倉沢は、上流域からの大量の土砂流出により、河床に不安定土砂が厚く堆積しており、豪雨等による大量の土砂流出が予想され非常に危険な溪流です。このため、不安定土砂の流出抑止を目的に、平成7年度から檜倉沢砂防えん堤群に事業着手し、急峻な地形で冬期積雪により工期が限られる状況の中、砂防えん堤の工事用道路整備を計画的に進め、平成18年度からは、砂防えん堤本体工事に着手しました。平成20年度も引き続き砂防えん堤整備を推進します。

2. 平成20年度事業の内容

第1・2号砂防えん堤の整備を推進します。



不安定土砂堆積状況



檜倉沢第1号砂防堰堤(施工中)

中津川床固工群の推進

～ 地域計画との連携～
(新潟県津南町)

1. 事業の概要

中津川下流域の河道では、上流からの土砂の堆積と偏流等による流出が繰り返され、昭和56, 57, 58年に相次いで堤防・護岸等の決壊、道路や公園、田畑等への被害が発生しています。このため、流れを安定させるための床固工群(流路延長5.7km)を整備します。また、津南町の背後地整備計画である「中津川水辺プラザ」整備構想と連携し、自然豊かな中津川の河川空間を活かし、町民の様々な「交流の場づくり」「川とのふれあいの場づくり」を目指します。

2. 平成20年度事業の内容

第4号床固工左岸側護岸工の整備に着手します。

